

筑北三村地域自立支援協議会 部会・プロジェクト議事録

部会・プロジェクト名 第1回 暮らし部会	開催日:令和7年5月27日(火) 時間:13:00~15:00 場所:ちくほくシャインカレッジ 6年生教室
参加者・構成機関名 (参加7名)	
生坂村健康福祉課(部会長竹内)	麻績村住民課(副部会長高野)
麻績村社会福祉協議会(吉本)	筑北村社会福祉協議会みずなら(滝澤)
ちくほくシャインカレッジ(鈴木)	鹿教湯三才山リハビリステーション(山田) 事務局(藤澤)
次第	
1.今年度テーマ	
2.年間予定	
次回予定	9月11日(木) 13:00~15:00 ちくほくシャインカレッジ

会議内容

1.今年度テーマ

- 暮らし部会は重度障がい者の暮らしと居住環境について協議する部会となっている。障がい者の暮らしをサポートする事業について出し合い、その使い難さや課題などを話し合いながら来年につなげていきたい。
- 圏域の市村と4つの基幹で体制整備をプロジェクト行っているなっている地域生活支援拠点事業について今年度は話し合いをしたい。
- 他、意見交換をしながら地域課題や今年度テーマを検討したい。

①暮らしをサポートする事業について

1)地域生活支援拠点事業について(高野副部会長)配布資料あり

- 事業内容として、「相談支援の充実」、「ひとり暮らし体験事業」、「研修会の実施」、「緊急時短期入所空床確保事業(以下、空床確保事業)」の説明。
- 空床確保事業の支援が必要な人とは入院、葬儀等、養護者が急に本人の面倒がみられない数日間の利用ができる。原則、台帳登録が必要。
- 空床確保事業の利用者は少なく、昨年度の利用者は台帳登録者ではなかった。事前に相談ができ台帳登録ができていると利用がスムーズなので、三村の台帳登録整備を行いたい。
- 台帳登録に関し、他市で対象者に郵送でお知らせをしたが、希望は1人だった。登録に向けた周知には工夫が必要。

2)基幹相談支援センターについて(事務局)配布資料あり

3)地域連携推進会議(事務局)配布資料あり

②意見交換

- 体調悪化、重症化、自身の高齢化や親亡き後の準備としてサービスを知ってもらうことは大切。
- 三村に対象となる人がどれくらいいるのか。見えている人もいるが見えない人、週末だけ帰ってくる人がいるらしく、把握しておいた方が良いのではないか。地域の障がい者の実態や実数が見えない。

→居住環境整備プロジェクトで集計された令和6年度資料の共有

- ヘルパーには相談員のようにスタート時には信頼関係も障がいの専門性も無い中、いきなり支援で対応が判らない時や怖い思いをする事がある。他、認知症の利用者であるがベースは何らかの障がいでないかと思われる方が居る。障がい特性の理解をする研修等があると良い。

→研修や継続した学びの場の機会がどのようにあればよいか。

→主任相談支援専門員への相談、外部講師の紹介、地域ゲストとして受けられる研修の情報共有、マネジメント連絡会等、いろいろな研修や集まりの参加ができたらよい。

- ・会議等、本人がいる前で障がいについて確認しにくい。
- ・三村における地域連携推進会議の具体的な状況を知りたい。→後日確認
- ・担当している人に地域生活支援拠点事業の利用があるとよいと思う人がいる。困った時にどうするのか親も本人も知らない様子。共生社会を目指すのであればわかり易くいろいろな人に知ることができる情報発信が必要。
- ・ひとり暮らしの心配がある中、急に始めた人がいる。この事業が使えると良かった。当事者、ご家族、事業者等に必要な情報が届いていない。情報発信の方法、つながり易さ、わかり易さが大事。
- ・介護保険と異なり、障がい者のサービス利用には審査の時間を要し、制度が判り易く伝わるといい。
- ・地域包括支援センターがようやく浸透してきている。障がいに関する情報が多いと判らない。

③ 地域課題や今年度の活動について

- ・障がいの理解・学ぶ場の機会の整備
- ・居住環境整備プロジェクトとの連携
- ・情報が必要な人や事業所への発信や周知の工夫の協議

2. 年間予定（木か金の午後13時～15時が望ましい）

- ・第2回 9月11日(木) 13:00～15:00
- ・第3回 2月12日(木) 13:00～15:00